

事業所名

ほつぺ

支援プログラム

作成日

2025年

3月

1日

法人（事業所）理念	こだわりにこだわらず、良い習慣を身につけることができるよう、できたこと、頑張れた事を評価して、有益な活動に繋がる支援を常に意識しながら、支援者として一人の人間として、地域で共に暮らす社会を築いていきます。			
支援方針	日常生活における基本的な動作を習得し、集団に適応することができるよう障害の特性をふまえ発達の援助・療育を行います			
営業時間	9時 00分から 18時 00分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	健康状態をチェックし状態を把握する。 排泄・食事、衣服の着脱、手洗いなど基本的な日常生活の動作が身につけられるように支援する。		
	運動・感覚	室内歩行や散歩、ラジオ体操、身体全体をつかった粗大運動や視覚、公園や遊具を使用した遊びのを通し体感を整え、聴覚、触覚などの微細運動を取り入れ楽しくスキルを伸ばす支援をする。		
	認知・行動	集団活動の中でお話しを聞く練習として、リトミックや本の読み聞かせ、遊びの中で待つ練習などを取り入れ集団でのルールや行動が学べるようにする。個別活動ではプリント、ブロック、パズルなど様々な取り組みを提供し感覚や自主性、タイムスケジュールに沿って行動できるように支援する。		
	言語 コミュニケーション	場面にあった言葉や、ジェスチャーでのコミュニケーションが身につけられるように、職員がお手本を見せ仲立ちしながら学べる機会を提供します。また、自分の思いや気持ちが伝えられるように意思伝達しやすい環境つくりをする。		
	人間関係 社会性	集団遊び、活動を通して、他児と交流する機会を増やし、友達との距離感や社会のルール、感情のコントロールなどが身につけられるようお手伝いをする。努力していること、頑張ったことを積極的に褒め自信に繋げられる支援をする。		
家族支援	送迎時、電話、lineなどを通して、保護者様の悩みを情報共有し相談援助をおこなう。	移行支援	ご家庭での移行過程に適応できるよう心理的サポートをおこない、関係機関との情報共有や支援の擦り合わせをおこなう。	
地域支援・地域連携	・挨拶を通して、買い物、散歩、イベントなど社会資源を通して地域の方との接する機会を設ける。 ・専門、関係機関との連携を図る。	職員の質の向上	外部研修への参加、内部研修の振り返り、カンファレンスをおこない知識の向上を図る。	
主な行事等	夏祭り、プール、遠足、ハロウィンなど季節を感じられるイベントを開催。 系列事業所と合同で餅つきを年1回おこなうことで、業所ライフステージの切り替えを見据えた関わりが持てる機会を作る。			